

## 4つの目標の取組状況等一覧

	具体的な取組	取組状況	課題・進め方
区民の学びと自立を支える課題解決支援型図書館	① 各館の個性づくりを目指した蔵書構成の充実	○ 区民ニーズ、各巻テーマを踏まえ選書・配架。 ○ 年6回、テーマごとのパスファインダー※1発行。	○ 大規模館への蔵書テーマの設定（小規模館は除く）。 ○ パスファインダーは継続。
	② より専門的な課題にも対応できるレファレンス・サービスの充実	○ 研修等への参加による対応力の向上。 ○ オンラインデータベースの活用。	○ 研修等によりレベルアップの継続。 ○ オンラインデータベース利用の拡充。
	③ 地域のボランティア団体等の育成・活動支援や、ボランティア団体等との連携事業の実施	○ おはなしボランティアへの活動場所の提供等	○ 事業継続。 ○ ボランティア以外の地域団体（町会等）の紹介展示等の実施。
	④ 電子書籍（障害者向けデジ図書、地域資料などを中心に）の収集・提供	○ 一般電子書籍は未導入。 ○ サピエ図書館※2登録済み。 ○ 地域・行政資料のデジタルアーカイブ化	○ デジ図書、読み上げ機器等の拡充。 ○ サービス周知方法の再検討。
	⑤ 情報活用力の向上のための講習会等～はじめてのタブレット型PC講座、情報検索活用講座など	○ タブレット体験講座を実施	○ 情報リテラシー関連講座等の実施（PC講座等は不要）。
	⑥ 中野のまちづくりの進展に併せた、学生、ビジネスマン、外国人向け資料の充実		○ 新図書館で児童向け外国語図書、ビジネス関連図書を重点収集。

	具体的な取組	取組状況	課題・進め方
家庭、学校、地域の読書活動を支援する図書館	① 子ども読書活動推進計画の取組推進～特に、子どもと保護者が本に触れ合う機会の創出、地域の乳幼児施設におけるボランティア活動への支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 子ども読書活動推進計画・第3次（平成29年度～令和3年度）策定。</li> <li>○ おはなし会：545回6145人 小さい子向けおはなし会：96回1210人</li> <li>○ 子ども食堂でお話し会実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ブックスタート事業等の検討。</li> <li>○ 図書館員のアウトリーチ事業の拡大（子育てひろば、児童館など）。</li> </ul>
	②地域開放型学校図書館の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 新図書館及び地域開放型学校図書館運営計画検討委託実施。</li> <li>○ 令和2年9月：みなみの小、美鳩小開設。</li> <li>令和3年4月：中野第一小学校開設予定。</li> <li>以降、改築等を踏まえ順次整備。</li> </ul>	○ 効果、学校のメリット、経費等を再検討。

	具体的な取組	取組状況	課題・進め方
郷土の歴史と特性を活かし、文化を創造・発信する図書館	①中野区ゆかりの作家等に関する情報や、史跡・旧跡・文化財等の観光資源情報の収集・発信	○ 年1回実施	○ 継続実施（回数増等要検討）。 ○ 配信方法の再検討（動画、SNS等）。
	②行政資料・地域資料の電子化と閲覧・貸出サービスの実施	○区立図書館デジタルアーカイブ開始（平成29年度）	○ デジタルアーカイブの継続・拡充。
	③区内大学など区内の様々な機関との協働による、多様な事業の実施	○ 明治大学と連携事業（年2回）	○ 連携先の見直し。
	④なかの里・まち連携自治体等との協働による、魅力ある事業の実施	○ 参考室で「なかの里・まち連携自治体展示」を常設。 ○ 「なかの里・まち連携事業に関する展示」実施（年1回）。	○ 展示事業のみ継続。
	⑤魅力的な蔵書構成や時機に対応した事業展開＋多様な広報媒体を活用した文化情報の積極的なPR	○ シイビブリア（館報）を年6回発行	○情報発信手法等（媒体、ターゲット等）の見直し。 ○パスファインダーの発信・活用方法の再構築。
	⑥郷土資料等の提供による、区民学習グループ等への知的活動支援		

	具体的な取組	取組状況	課題・進め方
良質な区民サービスを提供する図書館	①簡素効率的な図書館運営～サービス向上と経費節減	○ 指定管理者制度による運営継続。	○ 指定管理者制度による運営継続（令和3年度から第3期開始）。
	②関係機関との協働（地域商店街、医療機関、ボランティア団体等）	○ 地域商店街へ出張図書館（4回268人参加）。 ○ 医療機関へ絵本等の長期貸出。 ○ 絵本講座（すこやか福祉センター・児童館）	○ ボランティア以外の地域団体（町会等）の紹介展示の実施/出張図書館等の拡充。
	③ICタグとBDS自動貸出・返却機の導入	○ 令和3年度ICタグ貼付、中央図書館・新図書館にBDS等導入予定。	○ 同左
	④図書館の今後の機能の拡充 ○地域図書館：課題解決支援機能や地域文化の発信拠点としての機能を強化+個性ある地域図書館の充実。施設配置の見直し  ○地域開放型学校図書館（小学校）	○ 本検討会により機能等の見直し。	○ 同左
	障害者サービス（高齢者サービス）の利用促進	○ 録音図書・点字図書等貸出しサービス：登録31人、貸出回数181回、貸出点数467点 ○ 在宅配送サービス：登録92人、宅配回数396回、貸出点数1811点 ○ 対面朗読サービス：登録14人、回数108回	○ 読書バリアフリー法の趣旨を活かした図書館運営。 ○ デイジー図書、読み上げ機、拡大読書器等の機器の拡充。 ○ 配送サービスの周知の拡充。

※1 パスファインダー：特定テーマに関する文献、情報の探し方・調べ方を提供するツール（パンフレット）。

※2 サピエ図書館：視聴覚障害者等に点字・音声データ等を提供する図書館。